参考資料２

令和5年度　決算について

１　決算概要

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症が感染法上の５類に移行したことに伴い、市民生活に平静さが戻り、新患者数はコロナ禍前の水準への回復傾向が見られました。

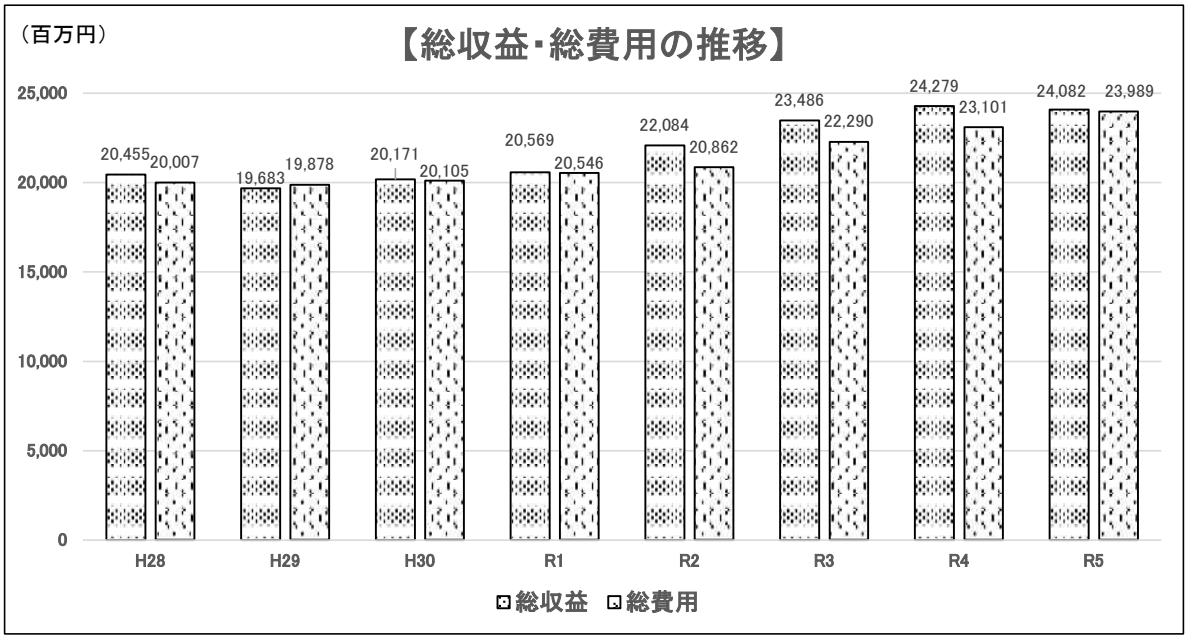
また、当院の第３期中期計画がスタートし、これまで以上に急性期診療体制を高める方針とし、クリニカルパスの利用増や地域医療連携による早期退院を推進することで在院日数の短縮を図り、また引き続き「断らない医療」として救急患者の積極的な受入れによる新入院患者の確保など、医業収益増につながる様々な取組みにより、入院・外来業務の診療単価については、過去最高であった令和４年度実績を更に上回る結果となりました。

収益面については、入院・外来業務ともに診療単価の増により、入院収益は 144 億 16 百万円、前年度比４億 85 百万円の増、外来収益は 62 億 47 百万円、前年度比３億 20 百万円の増となりました。

このほか、第３期中期計画に合わせ静岡市からの運営費負担金が 21 億 19 百万円、前年度比 2 億 24 百万円の増となった一方で、新型コロナウイルス感染症関連補助金が 3 億 62 百万円、前年度比 11 億 96 百万円の大幅な減となりました。

費用面については、医業費用の給与費は給与改定の影響により、98 億 54 百万円、前年度比１億 18 百万円の増となったほか、材料費は薬品、診療材料費が増加したことから、76 億７百万円、前年度比６億 24 百万円の増となりました。

これらの結果、令和５年度の総収益は 240 億 82 百万円、総費用は 239 億 89 百万円、当期純利益 93 百万円の黒字決算となりました。なお、前述の新型コロナウイルス感染症対策事業に係る補助金収益を除いた場合は、約２億 69 百万円の赤字決算になります。

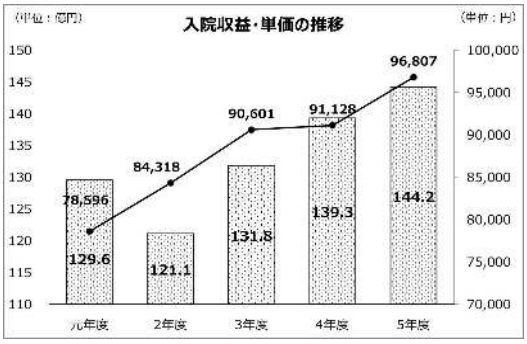


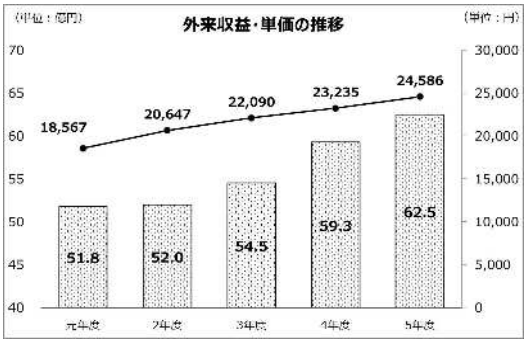
2 主な診療実績

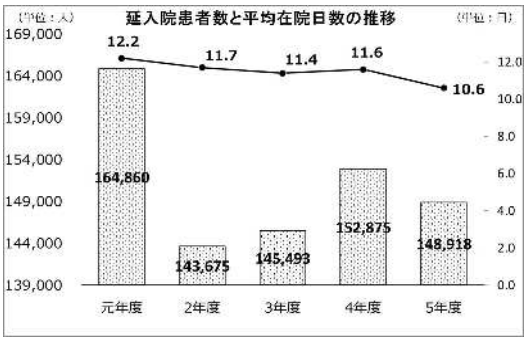
入院関連	令和5年度実績	令和4年度実績	増減値	増減率
診療単価	96,807円	91,128円	5,679円	6.2%
延患者数	148,918人	152,875人	△ 3,957人	△ 2.6%
1日平均患者数	407人	419人	△ 12人	△ 2.9%
新患者数	12,795人	12,110人	685人	5.7%
病床稼働率	80.4%	82.8%	△ 2.4P	
平均在院日数	10.6日	11.6日	△ 1.0日	△ 8.6%

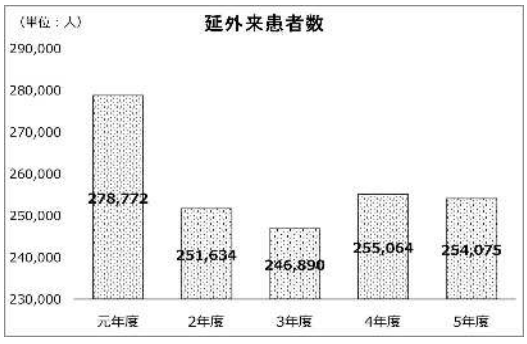
外来関連	令和5年度実績	令和4年度実績	増減値	増減率
診療単価	24,586円	23,235円	1,351円	5.8%
延患者数	254,075人	255,064人	△ 989人	△ 0.4%
1日平均患者数	1,046人	1,050人	△ 4人	△ 0.4%
新患者数	23,044人	22,687人	357人	1.6%

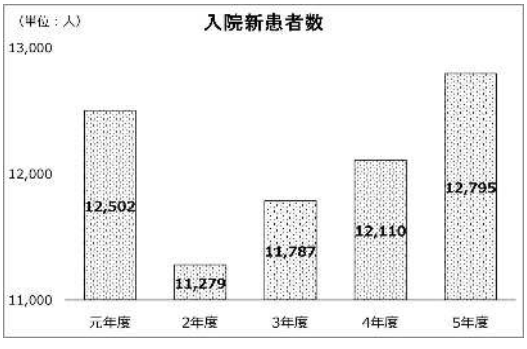
稼働状況等	令和5年度実績	令和4年度実績	増減値	増減率
手術件数	5,903件	5,850件	53件	0.9%
紹介率	90.8%	90.6%	0.2P	
逆紹介率	153.5%	155.5%	△ 2.0P	

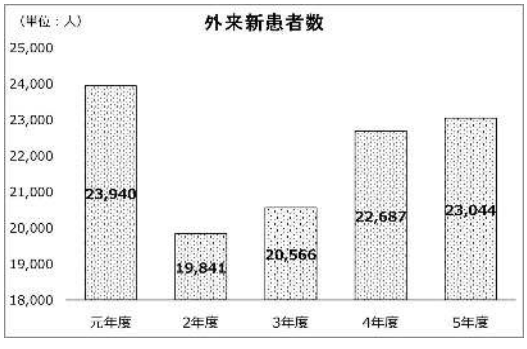












3 財務諸表

（1）損益計算書

一会計期間（４月１日から翌年３月31日までの１年間）に属するすべての収益と費用を記載した法人の経営成績を明らかにしたものです。

（単位:百万円）

項　目	令和5年度	令和4年度	増減額	主な増減理由
総収益	24,082	24,279	△ 196	
営業収益	23,915	24,107	△ 193	
医業収益	21,034	20,202	832	
入院収益	14,416	13,931	485	延患者数:△3,957人 （5年度:148,918人、4年度:152,875人） 単価:+5,679円 （5年度:96,807円、4年度:91,128円）
外来収益	6,247	5,926	320	延患者数:△989人 （5年度:254,075人、4年度:255,064人） 単価:+1,351円 （5年度:24,586円、4年度:23,235円）
その他医業収益	401	380	21	※検診料、予防接種、人間ドッグ
保険等査定減	△ 30	△ 36	6	
運営費負担金収益	2,119	1,895	224	第3中期計画どおり
補助金等収益	656	1,915	△ 1,260	新型コロナウイルス関連△1,196百万円 （5年度362百万円、4年度:1,558百万円） 物価高騰関連△76百万円 （5年度:194百万円、4年度:270百万円）
寄附金収益	0	10	△ 10	
資産見返戻入	106	85	21	※負担金等財源取得資産の減価償却費見合い分収益計上
営業外収益	165	171	△ 6	
運営費負担金収益	51	55	△ 4	第3期中期計画どおり
財務収益	1	0	1	
その他医業外収益	114	116	△ 3	※駐車場料金等
臨時利益	3	0	3	
その他臨時利益	3	0	3	貸倒引当金の戻入による増加
総費用	23,989	23,101	888	
営業費用	22,712	21,877	834	
医業費用	22,282	21,440	843	
給与費	9,854	9,737	118	給与改定に伴う給料・賞与等の増加
材料費	7,607	6,984	624	診療材料費+378百万円 （5年度:3,624百万円、4年度:3,246百万円） 薬品費+230百万円 （5年度:3,922百万円、4年度:3,692百万円）
減価償却費	1,441	1,373	68	償却対象件数の増加
経費	3,301	3,275	25	報償費+24百万、光熱水費△133百万円、修繕費+81百万円、賃借料+8百万円、委託料+36百万円、手数料+8百万円ほか
研究研修費	79	71	8	※学会、研修旅費
一般管理費	430	438	△ 9	
給与費	396	409	△ 13	
減価償却費	4	3	0	
経費	30	26	4	
営業外費用	1,278	1,223	54	
財務費用	126	138	△ 12	※支払利息（移行前地方債・長期借入金）、リース利息
消費税	1,150	1,079	72	
雑損失	2	7	△ 5	
臨時損失	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	
その他臨時損失	0	0	0	
当期純利益	93	1,178	△ 1,085	

（注）表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

（2）貸借対照表

決算日（３月31日時点）におけるすべての資産（資金の運用形態）、負債及び純資産（資金の調達方法）を記載した法人の財政状況を明らかにしたものです。

（単位：百万円）

項　目	令和5年度末	令和4年度末	増減額	主な増減理由
資産の部	23,376	23,738	△ 361	
固定資産	11,836	11,604	232	
土地	3,001	3,001	0	
建物	4,732	4,886	△ 154	東館・西館等減価償却による減少
構築物	9	7	2	
器械備品	2,187	1,894	293	償却資産取得による増加
車両	10	15	△ 4	減価償却による減少
リース資産	1,071	1,408	△ 337	電子カルテ・ネットワーク機器減価償却による減少
建設仮勘定	24	65	△ 41	手術室増設業務の進捗による減少
無形固定資産	25	29	△ 4	減価償却による減少
投資有価証券	500	0	500	資金運用による増加
長期貸付金	276	297	△ 21	看護師修学資金の新規貸付減少
破産更生債権等	58	66	△ 8	
貸倒引当金（破産更生債権等）	△ 58	△ 66	8	
その他投資	0	0	0	
流動資産	11,540	12,134	△ 594	
現金及び預金	7,331	7,430	△ 99	※キャッシュ・フロー計算書参照
未収金	3,835	4,327	△ 492	補助金分の減少
貸倒引当金	△ 28	△ 26	△ 2	
医薬品	248	235	14	
診療材料	132	149	△ 17	
前払金	17	15	2	
その他流動資産	4	3	1	※保険前払分、有価証券利息未収分
負債の部	14,426	14,880	△ 454	
固定負債	10,966	11,514	△ 548	
資産見返負債	394	389	5	負担金等財源取得資産購入分の増加
長期借入金	600	600	0	
移行前地方債償還債務	4,169	4,456	△ 287	既往債の償還による減少
引当金	4,964	4,856	108	退職給付引当金の増加
リース債務	838	1,213	△ 374	電子カルテ・ネットワーク機器償還による減少
その他固定負債	1	0	1	
流動負債	3,460	3,366	94	
一年以内返済予定長期借入金	300	300	0	
一年以内返済予定移行前地方債償還債務	287	281	6	
未払金	1,738	1,698	40	固定資産支払分の増加
未払費用	94	91	3	
引当金	510	493	17	
一年以内支払予定リース債務	374	368	6	
その他流動負債	155	134	21	※預り諸税、預り納付金
純資産の部	8,951	8,857	93	
資本金	4,919	4,919	0	※静岡市出資金
資本剰余金	0	0	0	
利益剰余金	4,031	3,938	93	
前期中期目標期間繰越積立金	3,938	320	3,618	第2期中期目標期間からの繰越
目的積立金	0	2,440	△ 2,440	
当期未処分利益	93	1,178	△ 1,085	
うち当期純利益	93	1,178	△ 1,085	

（注）表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

(3)キャッシュ・フロー計算書

一会計期間（４月１日から翌年３月31日までの１年間）における業務活動、投資活動及び財務活動の３つの区分に分けて資金の流れを明らかにしたもので、現金と普通預金の動きを示しています。

（単位：百万円）

項　目	令和5年度	令和4年度	増減額	主な増減理由
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,088	2,236	△ 148	
材料の購入による支出	△ 8,418	△ 7,650	△ 768	薬品・診療材料支払額の増加による
人件費支出	△ 10,181	△ 10,084	△ 97	給与等支払額の増加による
その他の業務活動による支出	△ 3,645	△ 3,592	△ 54	経費等支払額の増加による
医業収入	20,924	20,007	918	入院・外来収益の増加による
運営費負担金収入	2,170	1,950	220	中期計画どおり
補助金等収入	1,250	1,621	△ 371	新型コロナウイルス感染症関連補助金の減少による
寄附金収入	0	10	△ 10	
その他の業務活動による収入	113	112	1	
利息及び配当金の受取額	0	0	0	
利息の支払額	△ 126	△ 139	13	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,538	1,015	△ 2,553	
定期預金の戻入による収入	100	2,000	△ 1,900	満期解約による
定期預金の預入による支出	△ 100	0	△ 100	資金運用による
投資その他の資産の取得による支出	△ 500	0	△ 500	資金運用による
有形固定資産の取得による支出	△ 1,153	△ 978	△ 175	固定資産購入額の増加による
無形固定資産の取得による支出	△ 10	△ 5	△ 5	ソフトウエアの増加による
貸付金の回収による収入	30	35	△ 5	看護師修学資金返済分
貸付けによる支出	△ 72	△ 68	△ 5	看護師修学資金貸付分
預かり保証金受入れによる収入	3	0	3	
預かり保証金払出しによる支出	△ 1	△ 25	24	
補助金等収入	166	56	110	医療機器購入に係る補助金の増加による
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 648	△ 645	△ 3	
長期借入れによる収入	300	300	0	
長期借入金の返済による支出	△ 300	△ 300	0	
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 281	△ 275	△ 6	
リース債務の返済による支出	△ 367	△ 370	3	
資金増加額	△ 99	2,605	△ 2,704	
資金期首残高	7,430	4,825	2,605	
資金期末残高	7,331	7,430	△ 99	

（注1）表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

定期預金含む資金残高

（単位：百万円）

区　分	令和5年度 ①	令和4年度 ②	増減額 ①-②
資金期末残高	7,331	7,430	△ 99
定期預金	0	0	0
合計額	7,331	7,430	△ 99

（注）合計額は貸借対照表「資産の部」の「現金及び預金」の金額と一致します。

4　長期借入金及び移行前地方債償還債務の状況

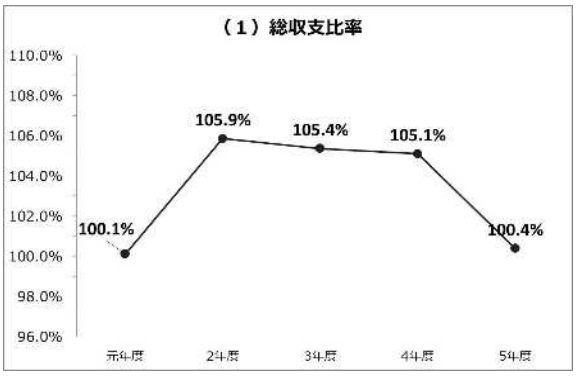
長期借入金（市からの借入金）及び移行前地方債償還債務（地方独立行政法人移行前に借り入れた地方債の償還債務）の状況は次のとおりです。

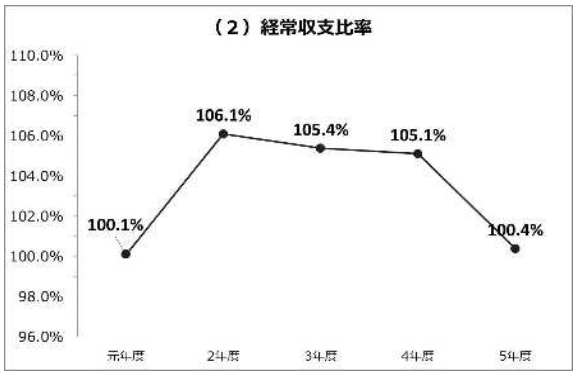
（単位：千円）

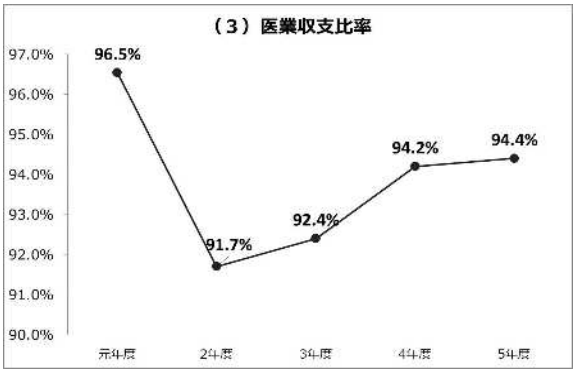
区　分	期首残高 (R5.4.1)	増減額			期末残高 (R6.3.31)	備　考
		新規借入額 (A)	償還額 (B)	計 (A)-(B)		
長期借入金	900,000	300,000	300,000	0	900,000	医療機器整備
移行前地方債償還債務	4,737,031	0	281,061	△ 281,061	4,455,970	建設改良資金
計	5,637,031	300,000	581,061	△ 281,061	5,355,970	

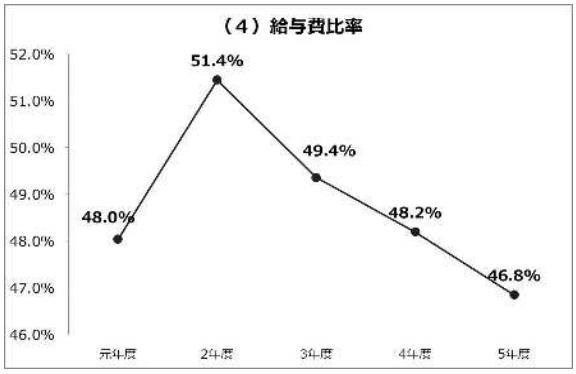
5 経営指標

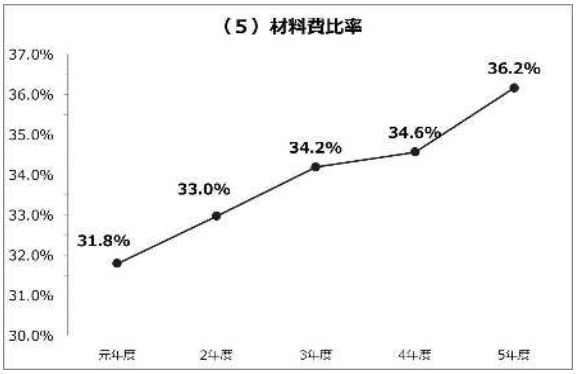
区分	令和5年度実績	令和4年度実績	増減
(1)総収支比率	100.4%	105.1%	△ 4.7P
(2)経常収支比率	100.4%	105.1%	△ 4.7P
(3)医業収支比率	94.4%	94.2%	0.2P
(4)給与費比率	46.8%	48.2%	△ 1.4P
(5)材料費比率	36.2%	34.6%	1.6P
(6)経費比率	15.7%	16.2%	△ 0.5P

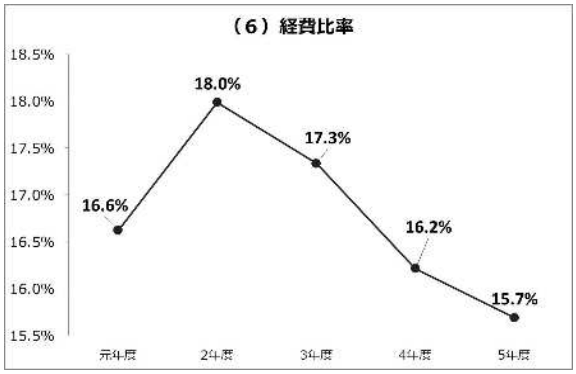












【経営指標の計算式】

(1)総収支比率・・・・・・・総収益/総費用
(2)経常収支比率・・・・・(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)
(3)医業収支比率・・・・・医業収益/医業費用
(4)給与費比率・・・・・・・給与費(医業費用)/医業収益
(5)材料費比率・・・・・・・材料費(医業費用)/医業収益
(6)経費比率・・・・・・・・・経費(医業費用)/医業収益

6 新型コロナウイルス感染症関連補助金　363,227千円(1,666,939千円)

()内は前年度額

○ 医療器械を購入したもの （「資産見返負債」及び「資産見返戻入」に計上）

（単位：円）

交付元	補助事業名	補助対象 （※主たる設備等を記載）	当期交付額
県	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金 （新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業）	保育器	1,500,000
		計	**1,500,000**

○ 病院運営に係るもの （「営業収益」に計上）

（単位：円）

交付元	補助事業名	補助対象	当期交付額
県	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金 （新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業）	新型コロナウイルス感染症患者及び新型コロナウイルス感染症疑い患者の入院のための病床確保に要する費用	324,442,000
	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金 （新型コロナウイルス感染症患者等病床確保等事業）	新型コロナウイルス感染症患者の入院のための病床確保に要する費用	35,665,000
市	新型コロナウイルス当番病院協力金	コロナ患者を受け入れる静岡市内のコロナ当番病院に対する協力金	1,620,000
		計	**361,727,000**

7 原油価格・物価高騰関連補助金　193,810千円(269,857千円)

()内は前年度額

○ 病院運営に係るもの （「営業収益」に計上）

（単位：円）

交付元	補助事業名	補助対象	当期交付額
県	医療機関等物価高騰対策支援金	物価高騰の影響を受ける医療機関等に対する支援金	43,718,400
	児童福祉施設等物価高騰対策支援金	物価高騰の影響を受ける児童福祉施設に対する支援金	92,000
市	静岡市立静岡病院運営費補助金	物価高騰等の影響により増加する経費に対する補助金	150,000,000
		計	**193,810,400**